

令和5年度第1回 新居浜市部活動のあり方及び 地域移行に関する検討委員会 会議録

- 日 時：令和5年7月26日（水）19時00分～20時30分
 場 所：旧消防庁舎4階 消防コミュニティ防災センター
 出席委員：天野委員、井川委員、大西委員、久保委員、阪本委員、高橋委員、
 藤田委員、古川委員、真鍋委員、矢野委員、山本委員（11名）
 欠席委員：なし
 事務局：高野次長、須藤課長、三宅副課長、松浦主事（4名）
 傍 聴：5名
 次 第：1 開会
 2 自己紹介
 3 委員会について
 4 議 事
 (1) 委員長及び副委員長選出について
 (2) 部活動地域移行の動向について
 (3) 今後の対応について
 (4) その他
 5 閉会

各委員	<p>1 開会</p> <p>2 自己紹介</p> <p>以下の順に、各委員の自己紹介を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新居浜市部活動指導員の天野裕氏 ・新居浜市小学校校長会の井川昭二氏 ・新居浜市民吹奏楽の大西誠氏 ・新居浜市文化協会の久保弥生氏 ・新居浜市中学校体育連盟の阪本博和氏 ・新居浜市教育委員会の高橋良光氏 ・新居浜市企画部文化スポーツ局の藤田和久氏 ・新居浜市PTA連合会の古川拓哉氏 ・新居浜市スポーツ協会の真鍋和人氏 ・新居浜市教育委員会学校教育課の矢野秀和氏
-----	---

事務局	<p>・新居浜市中学校校長会の山本基二氏</p> <p>(自己紹介)</p>
事務局	<p>3 委員会について</p> <p>資料1本委員会の設置要綱に基づき、委員会の所掌事務、組織及び任期等について説明を行った。</p>
事務局	<p>4 議事</p> <p>(1) 委員長及び副委員長選出について</p> <p>議事の1の委員長及び副委員長の選出について、新居浜市部活動のあり方及び地域移行に関する検討委員会設置要綱第5条に基づき、委員長は委員の互選によるとされております、選出の手法につきまして皆様ご意見はございませんか。</p> <p>(特になし)</p> <p>ご意見のない場合は、事務局の方から提案させていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、今年度の委員長につきましては、新居浜市教育委員会教育長の高橋委員にお願いできればと思いますが、皆様いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。副委員長は「委員のうちから委員長が指名する者をもって充てる」とありますので、高橋委員長からご指名をお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、スポーツ協会の真鍋委員にお願いしたいと思えます。お願いできますでしょうか。</p>
副委員長	<p>はい。</p>

事務局	<p>委員長、副委員長、席の移動をお願いします。</p> <p>(委員長、副委員長が席を移動)</p>
事務局	<p>それでは、委員長から一言ご挨拶をお願いいたします。</p>
委員長	<p>はい。委員長に選出されました高橋でございます。副委員長をはじめ委員の皆様のご協力をいただきたいと思います。新居浜市の子どもたちの豊かなスポーツ・文化活動を実現するために、忌憚のないご意見をいただきながら、進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、これからの議事の進行につきましては、委員長をお願いいたします。</p>
委員長	<p>(2) 部活動地域移行の動向について</p> <p>議事次第に従いまして委員会を進めていただきます。まず、議事の2 部活動地域移行動向について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料の2 に基づいて説明)</p>
委員長	<p>それでは各委員さんのほうからご意見ご質問等がありましたらお願いいたします。今日は20分ほど考えておりますので、どなたからでもご質問お待ちしております。</p>
委員	<p>事務局の説明の中で、部活動を地域に移行していくということでいいのか、また、モデルの形として2つ選ばれるということ、そのような方向性はきまっているということでしょうか。</p>
事務局	<p>国の計画を福間得て、県が9月末までには計画を策定するので、それを踏まえることになると思います。また、モデル事業については現在、中学校長会の説明をさせていただいて、学校に募集をかけているところです。</p>

委員	<p>ただ、初めの一步のところでご質問したいのですが、学校の部活動の改革について国が出してきたのは、まずは教員の働き方改革であったと思う。少子化のことも踏まえて、子どもたちが生涯通じてスポーツであったりとか、芸術であったりとかに携われるような環境を整えていこうと、それも十分分かるが、その初めの一步のときに部活動を残しながら、休日だけ土日、休日を地域クラブ活動に移行としようというのも、まずまず無理があると思っている。普段の勤務は全く変わらず、土日だけ試合ですよ。大体土日って言ったらその試合の日だけ地域クラブにお願いする、また、指導員にお願いするという感じがするので、これは進みにくいだろうと思う。</p> <p>現在成功している例としては、部活動指導員の方にはいっていただき、学校の教員というのはそれぞれの競技のスペシャリストではありませんので、ご自分が経験されていない部活動を持って苦勞している先生方もおられるので、そういう点では部活動指導員の方に専門的に普段から教えていただく、その活動をこのモデル事業の方でサポートしていただく、という点については実態にあっているかなと思っています。</p> <p>ただ、将来的なことを考えて部活動を地域に移行していくのは一番、サッカーが成功していますか、Jリーグという地域ごとにとという形を取っているのでは、おそらくサッカーが中体連に入っていないのは、完結しているピラミッドがあるからかなというふうに想定できますが、そこに移行していくということを真剣に考えるのであれば、地域クラブ団体というのが、この田舎の街でもかなり活発にしていかないと、中学校の部活を手放すというような形にいかないのかなと、ゴールが見えにくいというのは正直なところでは。</p> <p>実証事業であるとか、それについてはかなりありがたくて、今お手伝いしてくれている方、ボランティアで手伝いしてくれている方にきちっとした形で指導員という形でしていただける、というのはありがたいかなと思いますが、あまり学校の教員の働き方改革、実態の時間の短さとか、そういうことにはならない。精神的な負担であるとか、スキル面、技術面での負担感は非常にやむを得ないとは思いますが、根本的な解決ってなるのかな、という不安感もあります。</p>
----	---

<p>委員長</p>	<p>委員の方から大きな問題で最終ゴールが見えにくいのではないかと。中学校部活動を残していくのか、中学校を残してクラブ活動を団体にしていくのか、しかし、それはなかなか難しいのではないかと。土日だけの地域移行というのは、土日に大会試合があって平日の活動が難しいというところで、部活動指導員の制度がかなりいいのではないかと、こういう話でしたかね。</p> <p>実際この場にも部活動指導員の方がいらっしゃるの、今のご意見も踏まえて、部活動指導員としてかなりの時間、平日や都道の中にも関わっていただいている方もいるので、そのあたりの経験を踏まえて何か意見があったらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>委員のおっしゃるとおりに、土日仕事がなかなか平日の夕方の部活動の時間に関われないというのが実情でございます。そして、土日だけというような感じになっているのですが、土日どちらか休日というところがあって、実際の週1日3時間程度しか関わっていないというのが実情でございます。そのおっしゃるとおりに、大会が土日ごとにあって、ほぼ練習状態に見ずに、大会だけに出るところで何かこうやりきれない思いといいますか、何かもっと細かく修正したいなと思う、その中でもそれができていないという状況であって、やはり先生に普段お願いして活動をしていただいている、というような状況でございます。仕事柄、交代勤務をしている方、現役世代の方でも交代勤務をしている方であれば、平日でも子どもたちに関われる時間というのはすごく取れると思うのですが、やはり、この昼間の時間、働いているところというののがなかなか難しい問題なのかなというふうに思っています。</p> <p>地域移行しないということは多分できないと思いますので、何かを考えないといけないかなと思っているのですが、都会とは違って、指導者の数も本当に限られると思っていますし、いろんなところで学校の先生とトラブルがあって指導が続かないというケースもたくさん見てきました。そういったところに課題がある。</p> <p>生徒たちに関わる考え方、それから先生方にも関わる考え方というところを、お互いが歩み寄らないとこの地域移行というのは子どもを中心に考えたら、すごく難しい問題になってくるのではないかなというふうに思っています。</p>

委員長	<p>都会とは異なる指導者の問題という提案があったかと思いますがけれども、その人材という面で何かご意見いただけたらと思いますか</p>
副委員長	<p>どの部活動どの競技を必要としているのか。私は初めて数字を見ましたが、軟式野球というのもチームを作れない学校がいくつかありますよね。他にも、全然もう部活になっていないような人数がほとんどいないような競技がありますよね。その競技の中で、例えば柔道だったら8名ですよね。やっている学校が3校でこの柔道の生徒さんを柔道協会の方が3校に分けているのか、全部ひっくるめているのか、いろいろなどの競技にもそれが言えるということですね。スポーツ協会に属している柔道協会は、もともと競技の強化が問題ですよね。学校は部活動プラス教育、スポーツ協会の方の競技、私の専門ウエイトリフティングにおいてはですね、ウエイトリフティングの競技の普及と強化、これが目的になります。</p> <p>部活動中学校の部活動講座の時にプログラムを見ていますけれども、学校であれば学校教育、競技強化だけではないのですが、学校であったらまずは生活指導も含めて規律もあるし、いろんな面でも教育的な指導が主になるというわけなのです。競技指導の上に強化になると、まず、強化の方が先になると思います。指導する人にもよりますけれども、指導する人間の要というのは、挨拶が一番厳しく指導したとか、そうではなくて、技術面だけを積極的に指導する指導者もいる、このあたりのところが差が出てくるのですよね。だから、どの指導も同じような問題が発生すると思います。</p>
委員長	<p>非常によく分かります。スポーツ協会としては、選手の強化がまずあって、そのスポーツの普及、そのスポーツを強化していると、学校の部活動が教育といったところで、性格が大きく違わうだろうとその専門性あたりを、いかにうまく必要なところに力を貸していただくかというのは、これを非常に大事な部分かなというふうには思います</p>
委員	<p>委員さんが言われたように、やはり指導者によるということ</p>

	<p>がやはり大きな問題になると思います。じゃあ僕がやりますけど資格的なこともあると思うのですよ。手探りして始めて彼らを指導者としてやってもらう。学校の現場としてはやはりそれなりの資格というか安心したものが出てくる。そういうのが出ないと、もともと学校の中ですので、そこは今すごく心配をしているところです。あとは指導者が給与を受け取らないという問題があると思うので、当然そういう地域移行をしたいというお子さんもいらっしゃると思いますし、この活動で頑張りたいというお子さんもいらっしゃると思うので、全部の競技を一遍にそれが地域移行って難しいと思いますので、本当に出来る競技から構築的な体制ができたスポーツから行っていくぐらいのつもりでやった方が、あまり慌てて、これもあれもやっちゃうと今の段階では怖いという感覚があります。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。指導者の問題。それから出来るところから可能な範囲でやっていく。一気に慌ててやらないところが大切という意見だったかと思います。</p> <p>一番大きなゴールが見えにくいというお話が最初の方にありましたけれど、ここまでの議論でゴールについてどういうイメージを皆さんは持ちかなというのを、どうでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>ゴールのイメージと言われてはちょっと考えているのですが、なかなかイメージを沸きづらいというのが現状で部活がなくなってしまうとも思えないですし、共存していくような流れになっていくのだろうと思うのですが、教員の中でも部活動をしたいという思いを持っている教員も一定数いるでしょうし、ちょっと負担になっている先生がいるのも事実だと思うので、その辺のバランスで、指導員が入ったのですが、我々は教員の人事異動によって、どうしたら良くて学校内のバランスが変わることあるのかどうか色々考えているのですが、ゴールというのはイメージわきにくいですが、共存の流れというか、うまく学校教育と、地域移行ができる形を作っていくかなくちゃいけないのかなとは思いつつ、今、すぐイメージがピンときてないので申し訳ないです。</p>
<p>委員</p>	<p>私もゴールが見えにくいとお話をしたのですが、今、スポーツ</p>

協会のチャンピオンシップを目指していくオリンピックを育てる。それも十分分かるのです。そういう子どもたちはどうかというと、小学校時代からクラブチームに入ってスポーツを極めたいと思っている子が、そのクラブを中学校、高校とそのまま続いていくんじゃないかなと、それが成功されたのは水泳競技であるとか、特化している競技でありますよね、体操競技とか、今なお中学校の部活では中学校の先生ごとにはなかなかスキルがない。教えられない、専門家ではないと難しいと言われる競技については、ルートというのははっきり見えやすいところですよ。一番の目標で何かといたら、例えばサッカーだったらJリーガーだろうし、他の多競技であればオリンピックに出ることであたりもするだろうし、プロスポーツに行くということ、野球なんかもそうですよね。そのために間にクラブチームが挟んでくることは分かるのです。中学校の部活というのはそれだけではなくてスポーツを楽しみたいという、その子どもたちが初めてこのラケットを握ってみて面白いと思って始める子たちもいるのですよ。その子たちはいずれ2局に分かれて、チャンピオンシップに行く子もいれば、生涯スポーツという形で卓球なんかも一生ずっとやり続けるというスポーツを目指す子もいると思うのです。その経験を中学校で積んでおくことで、成功体験といういい経験を持つ中で一生続けていくスポーツに出会う子どももちろんおります。それが中学校の部活。小学校であればクラブ活動というのもあるので、その中で楽しんだ後、中学校で一つ決めてしていくという。それが一つ、中学校の部活の良さとか良かったことだなと思います。東京であるとか先進地区で今実証しているのが、完全にクラブはクラブとして移行していくのですが、小学校みたいに、今日はバスケットに、今日はサッカーにみたいなのを1時間ずつ勤務時間ない程度で終わる程度のクラブの時間みたいなのを準備していくというような取り組みをしているところがあるようです。部活ばかりしてきた私はなんだかなという感じがするのですが、先ほど委員さんがおっしゃったように、中学校の先生の中にも部活のスキルや技術を持っていて、情熱のある先生もたくさんおられるので、その先生方が指導員として登録をして、今の合同チームを受けてくれる指導者がおれば、どの学校も助かるなど、先ほどの委員もおっしゃったと思うのですが、あと副委員長さんもおっしゃったと思うんですけど、中学校の部活動、本

	<p>当に今単体でサッカーにしても、野球にしてもチームを作れるというのが難しくなっています。これはクラブ化の影響もあると思うのです。例えば、サッカークラブに行く、硬式の野球チームに行ってしまうということが多いため、軟式の中学校の部活動で始めたいという子が、なかなか難しい状況になってきています。これを合同チームとして受けてくれる指導者がおれば、中学校の先生が持たなくていいので、それは働き方改革にもなるし、地域移行にもなるかなと思うんですけど、一色単にそれができるとは今は全く思えないような状況なので、ちょっと苦しいかな。将来的にはそうなるのか、二極化するのかな、と思っています。その二極化の片一方を中学校がそのまま引き継いでいくのかなという、そうしたら部活がなくなるかなと思っていますけど、そうなるのかな、という気がしています。</p>
<p>委員長</p>	<p>非常に興味深い提案ありがとうございます。何かご意見ございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>この会に参加ということで、文化的なものとしてどういった形にできるのかなと自分なりにいろいろ考えてみましたが、先ほどいろんな委員さんがおっしゃっているように、文化部の方はより一層難しいのではないかな、というふうな思いをしております。私自身がどういう形で部活動にちょっとお協力できるかなと言ったら、もう全然自信がありません。</p> <p>今もNHKコンクールに出場する学校に、ちょっと先生来て聞いてください、というくらいはできるのですが、じゃあ中に入って指導してくださいというのはなかなか難しいところ、これは合唱に関してだけではありません。指導員についても、それぞれいろんな女性合唱の指導員さんがたくさんいます。素晴らしい指導員の方もいるのですが、皆さんそれぞれにピアノ教室とかしておりますので、普段は絶対に時間がなかなか取れないというふうな状態に今なっていると思いますので、もし形として文学部の方にもそういうのをお願いしたいと言ったら、文学協会にも合唱の団体がありますので、その指導者の皆さんに集まっていたら、いろんな意見を聞くことができるのは可能だ、と思います。</p>

委員長	<p>ありがとうございます。では、大西委員お願いします。</p>
委員	<p>吹奏楽ということでお話いいですか。吹奏楽だとまだまだ合唱のところがちよっと違う部分だと思うのですけれども、今私との声がかかるのは、吹奏楽の場合は小学校の金管バンドのときより楽器が増える、だいたい10種類の指導者が必要ということで、休みの日に各パートを1人ずつ誰か紹介してくれませんかというのは多いです。この1学期が多いのですけれどもコンクールがあるから、あまりにもいろんなところで声がかかってうまく調整できない、というようなうれしい悲鳴ではあります。ただ10人ぐらいのそれぞれのパートの講師も、もちろんうちの楽団だけではなくて、音楽の仲間はいろいろお願いするのですけれども、顧問の指導の軽減というか、役に立ちますがお休みにはなりません。場所は学校でないといけません。今のところ、ホールを取ってというところはできません。ホールを取るのだったら楽器を運ばないといけないので、結局教員がやりますので休みにはなりません。時間的な余裕はないけれども、吹奏楽でいうと全部の楽器を1人で教えられるようなスーパーマンいないので、そういう意味での精神的な負担は大きく軽減されるのだらうとは思いますが。</p> <p>私も楽器講習というのをやっているんです。定期的に。やっているんだけど、それも顧問がいけないということもできるのかもしれない、将来的には。もしそういうことができるようになれば吹奏楽の場合はもしかしたら可能性はあるかもしれませんが、繰り返しますけど、顧問がいけなくていいということではないと思います。指導の助けになるかどうかは分かりませんが、そういうことができるかな、というのが吹奏楽の今のところの立場です。むしろ、何校かまとめて言ってくれたらいいのになというのはもちろんあると思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。次のテーマがあるので、まだご発言いただいていない人さんには次のテーマでご発言いただきます。</p>
委員長	<p>(3) 今後の対応について</p> <p>それでは、議事の3 今後の対応について事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	(資料3に基づいて説明)
委員長	<p>これも全般的に、アンケート回答選択肢が一目で見て区別ができるように見出しをしっかりとしたら見やすいかなとは思いますが、今気がついたことがあれば発言していただいてもいいですし、持ち帰って実際にいろいろ見た上で動いていただいてもいいかなと思います。それでは、小学校の校長会からの発言お願いできますか。ちょっと余談ですけど、小学校のスポーツチームが全国大会に出るチームが市長のところにはひっきりなしにやってきます。本当にびっくりするくらいで、それだけ先ほどのチャンピオンシップという話がありましたけど、競技スポーツとしての小学校の社会体育というのは新居浜市が相当の盛大的なものです。そうしたことはちょっと脇に置いておいて、部活動のアンケートについて、ご意見お願いいたします。</p>
委員	<p>まずアンケートのことですが小学生の方でいくと問3、どんな部に入りたいですか、というアンケートですが、小学生中学校に上がるということになると、自分が進学する中学校であれだけの部活しかないよねというふうに最初から限定した考え方をする子がほとんどだと思います。特に小さい学校にあってはそうだと思いますので、やりたいが、部活を聞くのであれば進学先の部活動のあるなしにかかわらず、例えば抽象的に述べるのがいいのかな、というふうに今見て思いました。続いて小学生のスポーツ、委員長さんの方からありましたが、大変小学生、盛んです。ただ、私が思うのはそのスポ小に参加している子の割合というのは年々減っていると思います。例えば、うち船木なのですけど、船木の野球、そちらの方に参加している船木の子は2、3人ですというふうに、いろんな学校から集まって指導者のもとに、みんなで力を合わせて技能を高め、結果を残している。全体を見ると、しかし一部の大会というか、運動への取り組みの結果となっています。ですので、新居浜の小学生の基本的な体力全国平均というかすごく低いです。これは運動に二極化というか、運動に親しんでいる子もいるけれど、逆に運動に関わっていない、運動をしていない子が結構かなりの数おります。そこら辺はすごく小体連なり、体力高上委員会というものもあるのですけど、そこら辺の心配されております。そこを考えると、私が一番心配するのは、この</p>

	<p>中学校の部活がこうしていくと、そういう段階においてこれから中学校にあたる子どもたちがさらに運動離れをしないのかそこが一番心配です。小学校から、来年中学校はあがると思うのですが、部活どうなるのかな、どうなるのという心配だからやめとこうか、そういう気持ちにならないように考えなり仕組みづくり、情報提供、そういうのをしていかないと、逆にもっと運動離れ、部活離れ、加速してしまう、そんな気がしますので、そこだけ後でどうすればいいかというのはもちあわせてはないのですが、そこが心配の一点であります</p>
<p>委員長</p>	<p>小学校の立場から非常に具体的な課題点あげていただいております。ありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>今日来られている先生方は、教育委員会で仕事をしている時、学校教育の中体連の担当をさせていただいております。委員の皆様は当時本当に熱心に前に熱心に活動してくれていますので、日々の指導も含めて考えていきたいと思っております。アンケートの6ページには問7とありますが、先生の休日、どの程度部活動に費やしましたかといいますが、顧問の先生は今日の50日以上と回答が出てくるのではないかと、そんなに熱心にされてきたと思っております。その中ですね、やはりその先生方のご負担が大きいという話はあるのですが、やっぱり教育がやりがいという部活をやりたいという子どもたちに対して、今から入ってくる先生方、また今も部活動をそのまま継続したいという思いを持った先生方がちょっとどうなるのかなというところがございます。そういった先生とまた、やはり、その日々の放課後部活動、土日祝日の練習が負担になっている先生方。その辺りはどうするかというのは私もなかなかわからないところではございますが、こういった、本当に経験を持った先生方がいられて、このことを考えるというのは、非常にいい会議であると思っております。今後の会議を今までの人も見守っていききたいということと、スポーツ局として何ができるのかなという、スポーツ社会の中にも会社と連携した団体にこういったコーチ、こういった人材がいるという、このリンク一つで紹介はできるのかなと思うのですが、じゃあ、その方が学校の部活動に入っていけるのか、そこが合うのかどうか、というところが気になるところでございます。</p>

<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。人材のマッチというのは、これは大きな問題かなと思っています。特にスポーツ局は、高等学校も部活動支援をしていただいている、トップアスリート事業をかなり充実して展開していただいているかな、というふうに思っていますし、強化する部活動高等学校7つ8つ絞って、今応援しているかなと思います。そうした成果も出てきているのかなということは考えます。中高の接続みたいなどころ、非常に重要なかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>保護者の立場でということと言いたかったのですがけれどもこの中学生の保護者向けのアンケートということで、さっき、3年生の話がありましたが、3年生の保護者にも部活動をやってどうだったかというのを聞いてほしかったりするわけですよ。やっぱりやってよかったのかどうなのかということも知りたいし、やらせておけばよかったとか、やらせなければよかったとかいろいろと意見があります。あと、この費用のところやっぱりこれが気になっていて、親の収入の格差が学力の格差だと言われてはいますがけれども、今、スポーツも同じようになっていて、本当に保護者として、大丈夫かなとか、結構配慮する場面ってあったりするのですよ。例えば今の時代は、補給食を持っている子もっていない子がいないとかすごく気になるところなので、活動費がどのくらいになるのかということと、理想的な活動費というか、現実的にどのくらいなら負担できるのかということのイメージというのは知りたいな、というふうに思います。</p> <p>やっぱり今の部活動のシステムで非常にありがたくて、学校が終わったらすぐ例えばグラウンドに行ったり、体育館に行ったり、それで先生が見てくださり、子どもたちと自主的にやるということで、いろんな意味ですごく効率的なのです。けれども、やっぱり地域のクラブとかに入ると、月謝を払ってさらにその場所まで移動してみたいな話で、そこからさらに親が習い事に行くたびに車で迎えてきて自転車積んで塾に連れて行ってとか、すごい親の送り迎えがすごく大変とか、実態としてはかなり難しい状況もあるのではないかなと思うので、そのできる親に合わせるのではなくて、すごく難しい親もやっぱりいっぱいいると思うのですよ、共働きであったり、一人親であったり、やっぱりそういう子</p>

	<p>たちがしっかりスポーツや文化に関われるように、そういったところもちゃんと目配りしてほしい、この新居浜市の成り立ちを考えると、例えば渋谷区がってという話がありましたけど、一般社団法人ジブヤユナイテッド、僕も見に行ったしいいなと思いました。でもやっぱり渋谷の子どもたちの背景と新居浜の子どもたちの背景とは違うので、例えば高校出て地元で物作りの世界に飛び込みたい、現場に入りたいっていうときに、スポーツもやってないのにもやしてみたいなのがいってもやとってくれないのではないかな、というふうに思ったり、また精神面なんかもやっぱり、そういったスポーツとか、部活動をすることで養えることとかもあると思うので、なるべくだったら間口とかすそ野を広く取ってもらえるようなことを考えてほしいな、というふうに保護者の立場では思います。なんか、プロになりたいとかプロらしたいっていうのはごく一部であって、そうではなくて、やっぱり社会に出て、そういった培ってきたものが役に立つ。それを多分保護者は望んでいるのではないかな、というふうに思うので、よろしくお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>非常に格差の問題は確かに教育の全部それが叶うということは行政がその辺の対応ができないことなので、この辺りがどうしても部活動を保護者が担うというのは一定あるのかな、というふうに思います。もし日本の教育を支えてきたのは部活動であると言っても、これ、言い過ぎではないというところもあったと思います。ただ、時代の中ではいろいろな変化を要求しますので。事務局に何かご案内についてご説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、委員からお話がありまして、モデル事業についていろいろ見えています。長崎県のある市町、町だったと思うのですが、そこは土日を1日以降やっているのですが、月3,000円です。1人週1回参加するのに3,000円払ってください。違う自治体では土日地域移行しているんですけど、全部の活動ではなくてできる活動からやっていて、月500円です。その代わり、保険税800円は別途払ってください。だから月500円だと年間6,000円です。月3,000円だと年間3万6,000円ですから3万円開きがあって、各自治体そのところではすごく難しくやっているところがあるのかなと思っています。一方、他の自治体では無償でやる</p>

<p>委員長</p>	<p>という話も出ていますし、ここら辺、情報収集して、金額のところでは一番シビアなところだと思いますので、今後の委員会の中でそういったところについてお示しできればと思います</p> <p>(4) その他</p> <p>議事の4に移りたいと思います。事務局からお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日は第1回地域移行検討会ということで、国の取組状況などについて、さらに県と市の現状と今後の取組についてお話しさせていただきました。今後についてはアンケート内容、メールの方でお送りさせていただきますので、またご意見などいただければなと思っています。また、第2回の委員会の日程については、県の推進計画の策定が9月末になると伺っていますので、それを踏まえて、第2回の委員会を10月中にできれば開催したいと考えているところがございます。併せて、その時に2つのモデルとなる部活動についても、調整ができれば、報告させていただければ、と考えております。よろしく願いいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>私の方から、1点要望ですけど、この検討委員会に入るまでに部活動についての語る会をやってきたらと思います。その議論は部活動の合同実施であったり、拠点校方式についての議論であったり、非常に実態に即した課題の洗い出しがなされていたのではないかと印象がありますので、できればそうした過去の議論について決して別々ではないと思いますので、提供をいただけたらありがたいかな、というふうに思います。最後、お答えをいただけないといけないことがありますかね。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどお話があった国の委託事業も2つの種目でというお話なのですが、まず、最初にフットワークを軽くすぐにやるよと言ってくれた業界さんがバレーボール業界なのですよ。私のところに代表の方がやってこられてやりますよということ、実際に今男子の生徒を集めてやっておりますので、そういう声をかけてあげるのが最優先かなと、そういった保険や費用的なことをバックアップできるのならば、今後また女子も集めてというのもお話しされていまして、またご助言いただければと思います。</p>

委員長	ありがとうございます。もう一方。
委員	<p>ちょっとこの問題とはずれた質問なのですが、合同チーム方式というのが団体競技はあるかどうかということで、合同チームを聞いています。個人競技があるのは合同チームできないというふうに聞いています。なので、ソフトテニス、バトミントン、卓球というのは合同チームができないというふうに聞いているのですが、これは中体連のルールということで聞いています。ここもある程度クリアをしていこうという動きがないと、私がやっている勝負というのはなかなか難しいかな、というふうに思っています。そういった動きってあるのでしょうか。</p>
委員	<p>今の段階ではそのレベルで合同チームについては個人種目がある種目は合同チームができないという決まりになっておりますので、今後も見直しをされると思うので、そういった機会にお話ししていきたいと思えます。</p>
委員	<p>学校がですか、クラブですか。</p>
委員	<p>学校がです。</p>
委員長	<p>県内でもし拠点校方式としてやりいうのがあったら、またご紹介いただけたら、もうあるのですかね。</p>
委員	<p>多分、いくつかあると思います。南予の方にあると聞きました。</p> <p>拠点方式で例えば好き勝手動いちゃうと校区も何もこういつたときにぐちゃぐちゃになってしまうので、その辺の整理とかこう地区分けとか、そういったことはこれから必要になると思いますが、校区区分のほとんど関連して考えないといけないので、全部好き放題、どこでも行っても大丈夫となってもいけないと思います。</p>
委員長	<p>いろいろと熱心に、本当に貴重なご意見ありがとうございました。アンケート調査の記載については、今後事務局とメールでや</p>

	<p>り取りをさせていただきたいと思います。第2回の委員会につきましては、10月中に開催をいたしたいと思っております。これをもちまして、本日の委員会を閉会させていただきたいと思います ありがとうございました。</p>
--	--